

原発事故による全村民避難にあたって、時の片山総務大臣に二重住民票的な考え方を持ってもらわないと村民を安心して避難させられないので、是非考えていただきたいとの提案をしたのが今から4年半前のことでした。

この二重住民票のあり方はいろんなところでいろんな人によって語られてきたところでは。

一方、その後地方創生の動きやふるさと納税制度の充実により、もっと多様な考え方やシステムを進めたり取り入れていくことの必要性が出てきたところでは。

かなり以前「ふるさと村民制度」なるものが、ある自治体などにありましたが、今流のもっと柔軟にかつ人間がより楽しく生きがいを持って生活出来る制度、あるいはまた人間本来のもつ人間としての熱い想いがかなえられたり引き出せるような「ふるさと住民票（仮称）」的な発想を広げていく時代が来ているような気がしてなりません。都市と地方が対立するのではなく共生していくためにも必要な制度でありましょう。

このような制度は原発事故からの復興にも大いに寄与するものと思われま
すので、皆様のお力添えを！！

飯舘村長 菅野 典雄